



苫小牧CCUS・ゼロカーボン 推進協議会通信

Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage / Carbon Zero

苫小牧におけるCCUS・ゼロカーボンの動き

萩生田経済産業大臣 CCS実証試験センター視察

萩生田経済産業大臣が来苫

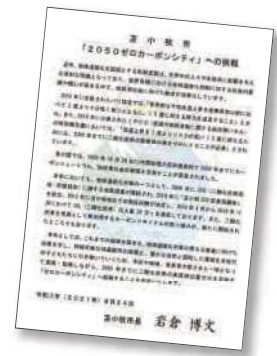
令和4年1月29日、萩生田光一経済産業大臣が苫小牧CCS実証試験センターを視察し、苫小牧市役所を訪問しました。



2050年ゼロカーボンシティへの挑戦を宣言

2050年ゼロカーボンシティへ挑戦

令和3年8月24日、苫小牧市は、地球温暖化対策の更なる推進に向けた決意を示し、持続可能な快適都市の実現と、豊かな自然と調和した環境を次世代の子どもたちに引き継いでいくため、2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言しました。



CCUS・カーボンリサイクルの新たな事業



提供：日本CCS調査株式会社

液化CO₂船舶輸送実証事業に着手 (NEDO事業)

CO₂を低コストで長距離・大量に輸送することを可能とする液化CO₂船舶輸送技術の確立に向け、NEDOの実証プロジェクトが開始されました。

本プロジェクトでは、舞鶴(京都府)の出荷基地から苫小牧の受入基地に、年間1万トン規模の液化CO₂の輸送実証が予定されており、各設備の建設や輸送用船舶の建造に向けた準備が進められています。



提供：デロイト トーマツ

産業間連携を活用したカーボンリサイクル 事業の実現可能性調査(NEDO事業)

苫小牧を拠点に、都市全体のゼロエミッション化に資するカーボンリサイクル事業の産業間連携による組成を目指し、実現可能性調査が行われています。

また、本事業の一環で、苫小牧産業間連携検討会議が開催され、関係官庁、関係団体、民間企業など約30の関係先が参加し、苫小牧におけるカーボンリサイクル技術導入シナリオの策定に向けた意見交換等が行われました。

CO₂大量排出源からのCO₂分離・回収、集約利用に関する技術調査(NEDO事業)

今後のCCUSの社会実装に向け、石炭火力発電所やバイオマス発電所を対象に、排出されるCO₂の分離・回収技術や、回収したCO₂を利用可能とするための集約技術等について、検討および課題整理することを目的とし、調査事業が行われています。

令和3年度の主な活動

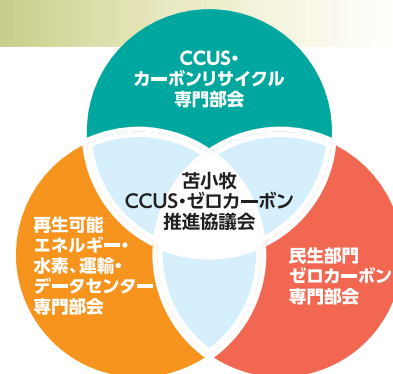
「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会」への改組

実施日：令和3年10月14日

令和3年度総会では、「苫小牧水素エネルギープロジェクト会議」の併合、「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会」への改組が承認されました。

改組に併せ、「CCUS・カーボンリサイクル専門部会」、「再生可能エネルギー・水素、運輸・データセンター専門部会」、「民生部門ゼロカーボン専門部会」を新たに設置しました。

【場 所】グランドホテルニュー王子 【参加者】会員・オブザーバー



専門部会の開催

実施日：令和3年12月～令和4年3月

令和3年12月24日に「再生可能エネルギー・水素、運輸・データセンター専門部会」、令和4年3月24日に「民生部門ゼロカーボン専門部会」を開催し、現状や課題等について意見交換を行いました。



パネル展や講演等の実施

実施日：令和3年4月～令和4年3月

パネル展
(4回)

北海道庁パネル展
トヨタカローラ苫小牧ショールームパネル展
第1回苫小牧都市再生講演会・パネル展
苫小牧西港フェリーターミナルパネル展

展示会
(3回)

エコチルまつりバーチャル2021
第35回ビジネスEXPO(札幌)
環境広場さっぽろ2021

講義
講演
(6回)

室蘭工業大学 ひと文化系領域①、ひと文化系領域②(室蘭)
日本エネルギー学会北海道支部研究発表会
北海道大学 大学院工学研究院 環境循環システム部門
石油学会函館大会(函館)
苫小牧工業高等専門学校



苫小牧工業
高等専門学校

ビジネス
EXPO



スマートエネルギーWEEK への出展

実施日：令和4年3月16日～3月18日

関係機関と連携し、スマートエネルギーWEEKに初出展しました。太陽光、風力、バイオマスから蓄電池、水素・燃料電池などエネルギー分野に関連する世界最大級の総合展示会です。

苫小牧ブースでは、苫小牧市で行われているCCS大規模実証試験やカーボンリサイクルの取り組み、苫小牧市の立地環境など幅広くPRしてまいりました。

来場者

会場全体 **41,761名**
苫小牧ブース **149名** (名刺交換)

共同出展者

日本CCS調査株式会社
苫小牧東部開発連絡協議会
苫小牧地区企業誘致連絡協議会



その他の動き

令和3年

- 6月：春季海洋環境調査
- 6月：定期保全工事
- 8月：ゼロカーボンシティ宣言
- 8～9月：夏季海洋環境調査
- 9月：第1回 苫小牧産業間連携検討会議
- 10月：第1回 理事会・総会
「苫小牧水素エネルギープロジェクト会議」を併し「苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会」へ改組
- 第2回 苫小牧都市再生講演会
「ゼロカーボンシティ宣言都市苫小牧の実現可能性」
- 10月：第2回 苫小牧産業間連携検討会議
- 11月：吉野彰氏（ノーベル賞受賞）
CCS実証試験センター視察
- 12月：秋季海洋環境調査
- 12月：第1回 再エネ・水素・運輸・データセンター専門部会
- 12月：第2回 理事会・総会（書面）

令和4年

- 1月：苫小牧港カーボンニュートラルポート(CNP)検討会
- 1月：第3回苫小牧産業間連携検討会議
- 1月：萩生田経済産業大臣CCS実証試験センター視察
- 2月：冬季海洋環境調査
- 3月：スマートエネルギーWEEK
- 3月：第1回民生部門ゼロカーボン専門部会

CCS実証試験センター視察実績

視察者数 91グループ 545名

7/ 1: 宗清・佐藤両経済産業大臣政務官	12名
10/19: 環境省 北海道環境事務所	5名
10/25: 北海道経済部環境エネルギー課	3名
11/ 2: 石油天然ガス・金属鉱物資源機構	3名
11/19: 産業技術総合研究所	14名
11/19: 米国大使館	7名
11/25: エンジニアリング協会	5名
12/ 1: 山岡達丸衆議院議員	2名
12/21: 三笠市役所 企画財政部	6名
1/18: 安平町立追分中学校	21名
1/18: 釧路市 産業振興部産業推進室	2名
1/24: 苫小牧埠頭	2名
1/29: 萩生田経済産業大臣	18名など



※新型コロナウイルス感染防止のため、見学受入れを制限し、細心の注意を払いながら行っています。

広報周知活動

地元企業と連携した広報周知活動

① 4/23付 北海道新聞「トップ対談」トヨタカラー苫小牧×日本CCS調査



地域と環境に寄り添う企業を目指して



② パネル展



③ 夏休み子ども自由研究



第2回 苫小牧都市再生講演会



苫小牧市公式YouTubeチャンネル『突撃!とまエコ企業』で、苫小牧CCS実証試験センターを紹介!

苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会通信 Vol.12

2022年3月発行

■作成：苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会
(事務局：苫小牧市産業経済部)

■問合せ先:

苫小牧市産業経済部企業政策室 港湾・企業振興課
〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号
TEL (0144)32-6438 FAX (0144)34-7110
<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kigyoritchi/>
E-mail:kigy@city.tomakomai.hokkaido.jp